

榛原総合病院 だより 11

2020
第181号

新型コロナウイルスとインフルエンザ流行期のはじまり

今年の冬は、今までと変わり、インフルエンザ感染の対策に新たに新型コロナウイルス感染への対策が必要となってきます。しかし、どちらの感染症への対策の基本は、手洗い、うがい、マスクの着用等は、変わりません。あとは、三密を避ければ基本対策は、出来ていると思います。

厚生労働省も、インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症対策を打ち出しました。今までの「帰国者接触者相談センター」は、夜間や休日の「受診相談センター」に模様替えをします。症状が出現して困ったときは、まず、皆様の「かかりつけ医」に問い合わせることになります。「かかりつけ医」の先生が適切な対応や診療をしてくれます。

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症の症状は、類似しています。症状が出現したときは、早めに医療機関への受診をお勧めします。

私には、「かかりつけ医」がいない！と困ったときは、「受診相談センター」や当院へお問い合わせください。

人類史上、初めての新型コロナウイルスやインフルエンザにも、しっかりと対策を行い、健康に乗り切りましょう。

サーモグラフィ検温システムを設置

正面玄関入口、夜間・救急入口での検温方法が、高性能サーモグラフィ検温システムによる検温に変わりました。

写真の左が正面玄関（パネル型）、右が夜間・救急入口に設置されています。

※アラームが鳴りましたら、近くのスタッフに声をかけてください。

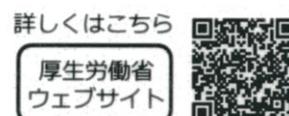
入館の際には、検温・手指消毒、マスクの着用を引き続きお願いいたします。



COCOA アプリのインストール

厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称：COCOA COVID19 Contact Confirming Application)」をスマートフォンにインストールすると、誰であるかはお互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受け取ることができます。アプリの利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されています。

自分を守り、大切な人を守り、地域と社会を守るために、アプリをインストールしましょう。



<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。